



笑顔で鬼を追い払いました

うわあ、まいった!

2月2日、桜ヶ丘地区社会福祉協議会が節分祭を行いました。鬼に扮したボランティアが1人暮らしの高齢者宅などを訪問する催しで、今年で4回目になります。

毎年鬼が来るのを楽しみにしており、「今年はまだ来ないの」と問い合わせたり、待ちきれずに玄関先まで迎えに出る人も。鬼たちが訪れると、「鬼は〜外、福は〜内」の元気な掛け声とともに、笑顔で鬼に福豆をぶつけて追い払いました。

いざ城攻め開始!

2月4日、最も平和で健康的な城攻め「イクササイズ」を兼山で初めて開催しました。

参加者は、5〜10kgほどの重さの甲冑や忍装束に着替えて兼山生き生きプラザから出発。ガイドの可児市山城連絡協議会から美濃金山城の歴史を聞きながら、美濃金山城跡まで約1時間かけて登りました。

ゴールとなった山頂ではポーズをとって記念撮影、りりしい姿を見せていました。



戦国時代の衣装に身を包んだ参加者



富田市長に質問する生徒たち

地域の良さ 市長が伝える

帝京大学可児中学校で2月7日、富田市長によるキャリア教育講話が行われ、1・2年生127人が参加しました。この講話は、働くことの意味や地元企業について知ってもらい、将来地域での就職や地元で暮らすことを考えるきっかけにしてもらいたいと実施しました。

地域の話聞いた生徒たちは、働く上で大切にしていることなど次々に市長に質問し、仕事や地域への関心を深めていました。

戦国時代の雰囲気さながら

2月9日、兼山生き生きプラザで、若者と行政が一緒にまちづくりを進める「Kanisuki若者プロジェクト(Kani若)」の第3弾「戦国時代の本陣作り」として、可児工業生が製作物を披露しました。生徒は市の歴史などを学びながら、市民や観光客に向け、写真映えするように美しく装飾した畳床几たたみしょうぎや大きな矢楯風機やたてふうつくえを製作。

戦国時代の雰囲気を感じ・体験できる施設となった観光の拠点にぜひ足を運んでみてください。



畳床几と矢楯風機

フォトコン結果&SHOWROOMを配信

平成30年成人式のテーマ「縁」にちなんだ企画、SNSのInstagramを使ったフォトコンテストを行いました。

「あなたの笑顔が、いちばんの親孝行」と題して、新成人のすてきな晴れ姿を収めた作品が集まり、全174作品の中から下恵土の亀谷明音さんが優秀賞に輝きました。副賞のKマネー1万円分を手にした亀谷さんは「家族みんなで食事に出かけたい」と喜びを語りました。

また1月16日には全国自治体で初となる動画配信アプリ「SHOWROOM」を配信。ふるさと広報大使の塚本明里さんや成人式実行委員長の加藤優さんらが出演し、ハタチの夢や20歳になって考える可児市など、成人をテーマにさまざまなトークを繰り広げました。



フォトコンテスト優秀作品



SHOWROOMの様子

市民に親しまれる施設

1月24日に開催されたB&G全国サミットで、10年連続で最高評価を受けた可児市が表彰されました。

可児市B&G海洋センターは昭和56年に開設し、体育館やプール、トレーニングルームなどがあり、年間約7万人が利用。日頃の活動をはじめ、みんなでギネス記録に挑戦するイベントや、子どもたちの水辺の安全教室などの活動が認められたものです。今後も市民の健康づくりや子どもたちの体力づくりに貢献していきます。



表彰を受ける富田市長(右から5人目)



左から(株)加藤製作所の加藤千之さん、富田市長、(株)イリギターの小池健司さん

どんどん働きやすいまちに

1月25日に働き方の見直しに模範的な取り組みを行う市内企業2社と協定を結びました。

今回協定を締結したのは、特殊な技術を要するため手作り生産を行う職場環境において、労働時間を管理し残業を削減した株式会社イリギターと、高齢者や地元高校生の雇用を積極的に進める株式会社加藤製作所の2社です。2社には今後も市の行事などに協力をいただきながら、一緒に働きやすいまちづくりを進めていきます。